

請願第2号		受理年月日	令和7年2月19日
付託委員会		教育文化委員会	
件名	学校給食の無償化を求める請願について		
要旨			
学校給食は教育の一環であるとともに、子供の健全な発達を支える上で重要な役割を果たしており、憲法第26条は「義務教育は、これを無償とする」と定めている。ところが、実際に無償化されているのは授業料と教科書代に限られており、学校給食費は経済的に重い負担となっている。全国では、学校給食の無償化（半額補助や減額措置を含む）に踏み出している自治体が5割を超えている。 北九州市の給食費負担額は、全国の流れに逆行して令和2年に値上げされ、小学校、特別支援学校は月額4,300円（特別支援学校中・高等部は月額5,100円）、中学校は月額5,400円となっている。給食費は子供一人一人にかかるため、複数の子供を持つ家庭での負担はさらに大きくなっている。 学校給食の無償化をめざす会が2023年7月に発足し、広く市民に学校給食の無償化実現を訴えて、賛同が広がった。 2024年9月議会に提出した請願署名24,768筆は、実現を強く求める市民の声である。11月7日に行われた教育文化委員会では継続審査となったが、全ての委員から無償化は必要との発言が相次ぎ、反対意見はなかった。 今年1月26日の市議会議員選挙で当選した議員にNHKが行ったアンケートでは、57名中53名が学校給食無償化に賛成と回答されている。学校給食無償化の実現を、市民の声を代表する議員の皆さんが喫緊の課題であると受け止めていることが明らかになっている。 市内にはまだ少ない有機栽培農家のネットワークづくりが実現している。有機栽培農家を増やし、有機栽培の活用を広げてほしいという農家、保護者が広がっている。 北九州市が義務教育の無償化に責任を持って、学校給食を無償化し、			

(続 く)

安全・安心な給食を子供たちに保障することが切実に求められている。

よって、下記の内容を実施されるよう求める。

- 1 北九州市で、小・中学校及び特別支援学校の給食費保護者負担を無償にすること。
- 2 安全で安心できる給食の提供と地産地消をさらに広げること。